



令和2年12月9日
9時1分 受領
令和2年12月9日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 佐戸 仁志



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
釣客との共存が必要では	<p>コロナ渦の中屋外で密にならない釣りが日本全国でブームとなっている。伊根地区でも多くの釣客が来町し、大西、七面山下駐車場は一杯となり漁協より亀島側は駐車場もなく、路上駐車によりトラブルがあり、又道が狭くUターンする場所も少ない亀島地区に観光客、釣客の車も多く進入しトラブルとなっている。大西、七面山下の駐車場護岸は漁港施設であり漁業者と釣人とのトラブルも多くあると聞く。</p> <p>カルビ海岸のように釣人を締め出してもまた来るといふ「いたちごっこ」となり、例えば多くの敷地がある伊根浦漁協の一部を有料駐車場とし、護岸の一部を釣客に開放するよう指導する、伊根郵便局附近に有料駐車場を作り亀島地区への車での進入を規制する。大西、七面山下駐車場護岸の一部を釣場とし、禁止場所も作り告知する等々締め出す事ばかり考えず共存する政策も必要ではないか。</p>	町長

発言時間 約 20 分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする



令和2年12月9日
9時 8分 受領

令和2年12月9日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 大谷 功

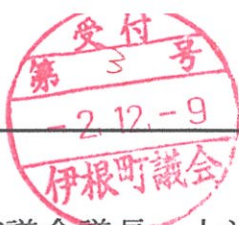
一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○農業振興について	<p>・伊根町の農業は、水稻、そば等の土地利用型農業と、みず菜、九条ネギなどの施設園芸中心の集約型農業と畜産である。近年は施設園芸の増加と新規就農者の就農、そばの作付け、農業法人の設立等で耕作放棄地の急激な増加もなく水田利用が進んできた。しかし、町内各集落の状況を見ると今後とも今の状況で推移できることは望めない。定年延長で会社員の方は65歳までの雇用が増加し今までのような退職者の農業労働力としてのカウントができにくくなる。新規就農者が入植しても収益率の高い施設園芸中心となり、広範囲の農地を守ることはなりにくい。集落内農業が維持できなくなる事が心配される。農地を守るには、土地利用型農業の推進しかない。土地利用型農業の麦、大豆生産は過去の経験から気象条件、有害鳥獣の点で伊根町では困難で、現状では、そばの作付け推進、米の有利販売で農業を推進していくしかない。町としてそばの作付増加についての何処まで伸ばせると考えているか、米の有利販売について、有機栽培などの生産調整技術の統一で伊根ブランド米を作り、有利な価格で販売できるような研究が早急に必用ではないかと思う。その体制作りが急務と考えている。今後の農業振興策について町長の考えを伺う。</p>	町長

発言時間 約 15 分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 2年 12月 9日
9 時 15 分 受領

令和2年12月9日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 山根 朝子



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
伊根町ネットワーク回覧板「いねばん」の運用について	令和2年4月から伊根町ネットワーク回覧板「いねばん」の運用が開始された。これまでのアナログ無線の放送では、放送の聞き逃しや音声のみの情報で理解しにくいなどの問題があったが、画面をクリックすることで何度もお知らせを確認することができ、図表などにより情報を視覚からも得ることができるようになり理解しやすくなった。しかし、お知らせでは「詳しくは本文をご確認ください」とアナウンスされることが多く、ホーム画面からメニューをクリックして求める内容のファイルを開ける方法がわからない人や、せっかくの図表やチラシが配信されていてもそれを拡大する方法がわからない人もいる。「いねばん」の運用からまもなく一年がたとうとしているが、利用に関する町民の状況をどのように把握しているのか。町民の評価、困りごとなどの声をどのように把握しているのか。そして問題点があるとすれば、どのような手立てを講じていこうと考えているのか。さらに今後の「いねばん」の活用についての考えを問う。	町長
	発言時間	約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 2 年 12 月 9 日

// 時 3 分 受領

伊根町議会議長 様

令和 2 年 12 月 9 日

伊根町議会議員

松山 義宗



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
伊根町立 保育園に ついて	<p>第 6 次総合計画の中に子育てしやすい・ええまち、子育て日本一、切れ目のないサポートとあります。それに向かって町長をはじめ職員も町民も努力をしております。</p> <p>さて、当該町は過去において町立保育園は 4 月、10 月入所が可能であったが現在は 4 月入所のみとなっておりますがその理由を入所前の対象家庭にどのように説明しおられますか。</p> <p>保育園のみならず人員不足なのは全国的なものとして理解しているが伊根町として保育士の確保にどこに、どのような努力をしておられますか。</p> <p>何事につけても時代の流れで広域連携、広域協定が叫ばれているが、保育に関しても 0 歳児からの広域入所の考えはありますか。</p> <p>当該町においては共働きも多い、特に都会からの移住者の場合出産後は働きたくても働けない現状があります。もう一歩進んだ支援や環境整備が必要と考えられますが町長の見解をお伺いします。</p>	町長

時間 15 分